

博士論文要旨

看護学専攻	学籍番号 1 8 6 1 0 2 氏 名 坪井 りえ
論文題目	市町村福祉部門に配属経験のある保健師を対象とした職業的アイデンティティの発達促進に向けたジレンマの経験を振り返る研修プログラムの開発
<p>【目的】福祉部門に配属経験のある保健師を対象とした職業的アイデンティティの発達促進に向けたジレンマの経験を振り返る研修プログラムを作成し、展開、評価することで研修プログラムの有効性を検証する。</p> <p>【第 1 段階】福祉部門に配属経験のある保健師を対象とした職業的アイデンティティの発達促進に向けたジレンマの経験を振り返る研修プログラム案を作成した。研修プログラムの内容は、トランジション中範囲理論の枠組みを用いて文献検討を基に作成し、保健師の福祉部門へのトランジション（移行）によるジレンマの経験を振り返るリフレクションをとりいれた。研修プログラムの展開は個別オンライン研修とし、講義動画の視聴とワークシートを用いた個人ワークの後、オンライン面接を実施した。研修回数は対象者の都合の良い日程で 2 回行い、1 回の研修は 2 時間程度とした。</p> <p>【第 2 段階】第 1 段階で作成した研修プログラム案を展開し、評価を行うことで研修プログラム案の有効性を検証することを目的とした。ネットワークサンプリング及び関東地域の市町村に依頼文を送付し、参加申し出のあった市町村福祉部門に配属経験のある保健師 12 人に対し研修プログラムを実施した。研修プログラムの評価は、プロセス評価とアウトカム評価により行った。プロセス評価は、リフレクションの評価、目標達成状況の評価及びトランジション中範囲理論の反応のパターンのプロセス指標の評価について、オンライン面接時の発言及びワークシートの記述から評価した。アウトカム評価は、行政保健師の職業的アイデンティティ尺度を研修前後で実施し、変化を検討した。分析は、個人の評価としてプロセス評価及びアウトカム評価を行った後、全員分を統合した。次にジョイント・ディスプレイを用いてプロセス評価とアウトカム評価を統合し、全体評価を行った。アウトカム評価の総得点が増加した者は 12 名中 10 名、得点が減少した者は 2 名であり、この結果はプロセス評価の結果と照らして概ね一致した。</p> <p>【考察】作成した研修プログラムは、福祉部門に配属経験のある市町村保健師の職業的アイデンティティの発達促進という研修の目的に対し一定の効果がある可能性が示唆された。本研修プログラムは、福祉部門の保健師を対象とした研修機会が少ない現状において、その活用により保健師のキャリア成熟に向け、系統的な人材育成への機会となることが期待できる。</p> <p>(993 字)</p>	